

「命の尊さを知る」

今夏、知人が亡くなったと連絡があった。突然の知らせに驚愕するしかなかった。先頃まで田の畦草刈りに精を出されていた姿を見かけていて、あんなに元気だったのにどうされたのだろうと思つた。

人間の命のはかなさを感じると同時に、誰もが訪れるであろう「死」を身近に感じる出来事であった。故人が一生懸命農業に従事して、近所の田畑を耕し、ようやく米が実り、収穫を楽しみしておられたらとうと推測するばかりである。それが一夜にして思いが途絶えてしまった。農業に限らず、どんな仕事で

tomon i kiru

も、人が汗水流して働いて成り立っている。一人の力は小さくても、力を合わせればやがては大きな力となり、後世に財産を残すこともできる。人の命があつてこそできることである。

コロナ禍で新たな生活パターンが生み出され、テレワークやオンライン会議など、ITを取り入れたものが次々に進められている。一方で、就職しても、若い人の離職が多く、技術の継承ができなくて困っているとも聞く。自然災害で尊い命が犠牲になつただけでなく、コロナ禍で命をなくした人もいる。

かけがえのない命をなくしてから気づくのは遅いかもしいないが、改めて命の尊さに気づかされた。

社会教育指導員 木村博重

市交際費の支出状況



令和2年10月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔 慰	今月分	2	10,000
	累計	48	149,500
見舞い	今月分	0	0
	累計	0	0
御 祝	今月分	0	0
	累計	0	0
賛 助	今月分	0	0
	累計	0	0
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接 遇	今月分	1	3,240
	累計	9	95,978
会 費	今月分	0	0
	累計	1	3,000
その他	今月分	0	0
	累計	0	0
合 計	今月分	3	13,240
	累計	58	248,478

※くわしくは市ホームページに掲載しています

問い合わせ 総務課 秘書係
☎75-2115

市長コラム

Message for citizen



市長コラム



新型コロナウイルス感染症の対策と経済活動の活性化、その両立が課題となっています。

経済再活性化への打開策として登場した「GOTOトラベル」「GOTOイート」等の対策事業。更に地域毎のクーポン券も加わって、多くの人々が割安感のある旅や食事、買い物に出かけ、観光業や飲食業に賑わい復活の様子も見えます。経済回復へのギアが入った印象です。

でも、人が動けば自覚症状のない感染者も動き感染が広がるのではとの懸念もありました。

ここにきて感染者が増加し、11月18日には全国での1日の感染者数が2000人を超え過去最多に。菅総理大臣は「最大の警戒状況にある」とし、基本的感染防止対策の徹底とともに、食事でも会話をする時はマスク着用を呼びかけました。東京では1日の感染者が18日に493人、19日に534人と

親しきなかにもマスクあり

市長 横尾 俊彦

11月19日記

連日の最多更新。新規陽性者はこの7日間平均で326人と、11月4日時点の平均164人に比べ約2倍の勢いです。

小池都知事は、感染者数が高い水準で推移し、重症化しやすい高齢者に陽性者が増えている現状に警戒を表明しました。

その上で、会食時の留意点として「5つの小」の実践、すなわち「小人数」「小一時間程度」「小皿」「小皿(に料理を分ける)」「小まめにマスク、換気、消毒」を呼びかけました。

親しい仲間や家族との会食など、ほっとして気が緩み、マスク着用なしで長話に及ぶ場面で感染が広がります。だから会食中でもマスク着用が肝心です。県内は比較的落ち着いた状態ですが、マスク、手指消毒、手洗い、密を避けるなどの予防の基本を実行し、安心できる年末年始を迎えたいものです。予防の徹底をお願いします。